

令和元年度 保育者のためのマネジメント研修 報告

8月19日（月）、静岡県総合教育センターで「保育者のためのマネジメント研修」が行われました。講師に、常葉大学大学院准教授の久米昭洋先生をお迎えし、研修を深めました。

午前は、講義を中心に、人材育成やコーチングのスキルを理解し、組織を活性化させる方法を学びました。豊富な事例をあげながら、大変分かりやすくお話をしてくださり、強い組織を作るためのリーダーとしての役割とその手立てについて考えることができました。

午後は、グループで演習を行いました。初めにSWOT分析をし、さらに、クロスSWOTを行うことをとおし、所属する園や所を俯瞰的に捉え、近未来をイメージし、今後の経営戦略づくりまで考えました。

参加された方からは、「今まであいまいだった部分が具体的に説明されて明確になり、はっと気づかされることが多くあった。」「これまでSWOT分析でとどまっていた、これでいいのかと疑問がありましたが、その先まで知ることができ、園でもぜひやってみます。」「勇気と元気をいただき、明日からリーダーとして頑張ろうという気持ちになりました。」などの声が聞かれました。実施後のアンケートでも「講義・演習は、今後の教育活動等に役立つ内容でしたか。」の質問に対して95%の方がA評価（4段階）でした。



【講師 久米昭洋 准教授】



【熱心に講義を聴く研修参加者】



【グループワーク】



【クロス SWOT 分析の発表】

参加者のアンケートから

- 初めてマネジメントの研修に参加させていただきました。参加するまではとても難しいものにとらえていましたが、講師の先生のお話にどんどん引き込まれ、もっと聞きたい、学びたいという気持ちになりました。演習の中で自分自身を発揮し、楽しく興味深く研修に参加することができました。学んだことを生かし、研修評価のレベル3（日々の指導に活用し指導の質を向上）レベル4（周囲の教員へ波及、相互フィードバックにより組織変容）へと高めていけるようリーダーとしての力を発揮していきたいと思います。（幼稚園 主任）
- 自分の立場（主任歴3年目）をなんとなく受け入れられず、日々迷いながらチームづくりを進めてきましたが、今日の研修でとても役立つスキルを学ぶとともに、何より自分自身がどうあるべきか、今後どうしていきたいかを考えさせてもらうよい機会となりました。（保育園 主任）
- 久米先生のお話を聞かせていただくのは2回目です。前は主任という立場で参加し、園の要として学んだことを取り入れ実践してきたつもりでしたが、今回は園長として参加しました。園の経営を任せられ、職員の育成をしていく責任を日ごろ感じていましたので、今回のお話はとても心に浸みるもので、自分自身を振り返る機会となりました。学び続ける姿勢をもち続け、コーチングを生かし、温かな人間関係作りに努め、園の組織力を高めていきたいと思いました。（幼稚園 園長）
- 今日の研修内容は、2ヶ月間休んでいる新規採用職員の育成についてずっと悩んでいる私の心にしみわたるものでした。どの内容もすとんと腑に落ち目の前が明るくなるような思いでした。9月から復帰となりますが「あなたがいてくれるだけでいいんだよ。」という気持ちを素直にぶつけ、園長としてできることを一つ一つ丁寧にしていきたいと思います。（幼稚園 園長）
- 最初は難しいかな、私の小規模保育園と関連があるかなと思っていましたが、講師の先生の経験豊かなお話を聞き、園長になって2年目の私に今後の道筋を示していただいた思いです。「いてくれるだけでありがたい。」という言葉に泣けてきました。職員にこの思いを持って接していきたいと思います。（小規模保育所 園長）
- 具体的な事例や演習等を交えた研修で、あっという間に1日が過ぎてしまいました。以前SWOT分析をやったことがありましたが、分析で終わらずクロスSWOTをすることで、より具体的な取組内容を明らかにすることができました。マネジメント論では、目的と目標、ビジョンの違いがよく言われますが、今日の講師の先生のお話で、その違いがよく分かりすっきりしました。自分自身と多くの保育者に対して、モチベーションクリエイターとなれるよう努めていきたいと痛感しました。（行政関係者）